

議事（１）福島県気候変動対策推進計画（案）における事前意見と対応（案）

ONo	委員名	ページ等	委員からの意見	御意見への対応（案）
1	藤田委員	第1章3（2） 11 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2章以降の気候変動対策、ロードマップの方針を検討するために、福島県の特徴、長所、短所をできるだけ定量的に解析しておくことが必要と考えます。 ○ 11 ページを見ると福島県の特徴の一つが、産業、運輸、民生がバランスの取れた構成になっており、分野横断的、連携しての取組も福島らしさになると考えられます。このような検討を直接的な現状の解説に加えて検討するべきと考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 御意見について、本計画の策定に当たっては、本県の特徴を踏まえた検討を進めているところであり、そうした考え方が伝わるよう、記載内容の充実を図ります。 ○ また、計画策定後も排出量の定量的な分析を継続的に行之、本県ならではの取組を効果的に推進します。
2	藤田委員	第1章3（2） 12 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産業系の中で機械製造業、化学工業、鉄鋼、パルプ、窯業、プラスチック等が製造業の8割を占めており、これらの中核産業については、震災前の動向、震災後の復興の影響等を考慮するために、部門別の排出量の変化とその考察が必要と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 御意見を踏まえ、計画に基づく具体的な取組の推進に当たっては、産業部門を含め、各部門の詳細な排出量の変化やその要因分析を行いながら、取組を進めていきます。
3	藤田委員	第1章3（2） 12 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運輸部門についても、福島は大都市圏と違い、旅客、貨物ともに、移動距離が長く、EV への転換が困難なトリップがあること、充電ネットワークインフラの整備が重要であること、一方で再生エネルギーの整備が進められており、ポスト FIT での地域生産地域消費を含む、再生エネルギーの積極的活用による運輸部門の脱炭素化を進めることも可能である等の考察の記述を期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 御意見を踏まえ、運輸部門における本県の特徴について、記載の充実を図ります。 ○ なお、充電インフラの整備や再エネの活用に関しては、第3章の運輸部門やエネルギー分野における取組の方向性として位置づけています。
4	藤田委員	第2章1（5） 20 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な数値目標、取組の内容については検討中と思われますが、2030 年、2050 年に福島県が目指す脱炭素の地域像について、概念図を提示することで県民の皆さんの理解を促すとも思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画策定後に本県が目指す姿や具体的な取組などを分かりやすくまとめた概要版を作成することで、県民等への周知や理解促進を図ってまいります。
5	藤田委員	第3章1（1） 32 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国の削減目標を踏襲するものに加え、福島の地域性を活かした取り組みを明記、強調することも期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 御意見を踏まえ、福島の地域性も考慮した記載となるよう、表現の整理を行います。 ○ なお、計画に基づく具体的な取組の推進に当たっても、本県の特徴を踏まえて対応してまいります。
6	熊本委員	第4章（5） 78 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「取組の方向性・県の取組」の記載事項が、「水環境・水資源分野」の取組みには該当していないのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 御意見について、記載誤りであったため、適正な記載内容に修正しました。

※その他、誤記や表記ゆれなどに対する御指摘については、福島県気候変動対策推進計画（案）（資料1-1）に反映済み